

麻見江ホスピタルだより

第 14 号

平成 29 年 3 月 1 日発行

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上

★サービス付き高齢者向け住宅★



『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』
電話 049-277-3185



『サービス付き高齢者向け住宅 麻見江』
電話 049-299-6813

『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』及び『サービス付き高齢者向け住宅 麻見江』はご好評により現在は満室となっております。施設は緑豊かな好立地条件だけではなく、隣設する提携病院への受診連携が迅速である事もお好評を頂いております。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。現在両施設とも満室ではございますが、ご見学や入所の相談は随時承っております。

☆ 院 内 行 事 ☆



当院ではレクリエーションの一環として定期的に「ものづくり教室」や「カラオケ大会」を開催しています。ものづくり教室では右上写真の様な手芸作品を制作しています。カラオケ大会では本格的なカラオケ機材を使用しているカラオケです。

また患者様に大変好評な「イベント食」も行っております。先日はイベント食として「寿司パーティ」を2日間に分けて行いました。普段は食が細い方もこの時ばかりは沢山召し上がってました。こうしたイベント時にはいつもと違う患者様方の生き生きとした表情



等が拝見出来ます。イベントを行う際には患者様に喜んで頂くのは勿論の事、患者様の喜ばれる姿を拝見出来る事は当院の職員の業務の励みにもなっています。今後も院内行事を継続し、より患者様方に喜んで頂ける内容を目標に精進して行きます。余談ですが、編集長もイベント食時には案内・給仕スタッフにて参加しております。

(右下の写真は今回イベント食での職員姿です。残念ながら編集長は写真栄えないので写真には写っておりません)。



★移動販売実施中★



ご高齢で買い物に行くのが困難である方々の為に食料品や日用品を中心とした『真美ちゃん号』による移動販売を行っております。食料品は栄養士が献立・調理したお惣菜を中心に販売しております。金額も殆どの品が一品 100 円とお買い求め安い価格設定になっております。現在は定期的に鳩山町やときがわ町、東松山市、小川町にて移動販売を行っております。ピンク色の自動車ですので見かけたらお立ち寄り下さい



☆ 無 料 送 迎 実 施 中 ☆

当院では外来受診をされる患者様の無料送迎を行っております（要予約。送迎地域は鳩山町内のみ。ご自宅から当院間の送迎利用のみです）。送迎する車は人気の「プチバン」タイプのクルマです。広々としたスライドドアは乗り降りも良好、プチバンタイプなので車内の居住性も良好です。

ご利用に関してのお問合せは…

電話： 049-296-1155 総務担当まで

平成 28 年度職員旅行



当グループでは職員の福利厚生に職員旅行を行っております。今回の旅行は鎌倉と箱根湯元でした。やはり旅行は癒されますネ。

【病院概要】

名称： 医療法人真美会 麻見江ホスピタル
住所： 〒350-302
埼玉県比企郡鳩山町大橋 1066
開設者： 理事長 馬場 真美子
院長： 今村 浩一
診療科： 内科・整形外科・リハビリテーション科・
精神科・皮膚科・歯科
病床数： 310 床（療養型病床 310 床）

☆ 編 集 後 記 ☆

社会生活においてお互いを受け入れる事の重要性はよく言われます。ソーシャルワークで有名なバイスティックの原則の一つにも「受容の原則」があります。一方的な価値観ではなく、お互いを認め合う事は社会生活の中では必要な事と思います。例えば、Aという人が道を通ろうとした時に、Bと言う人が先に道を使用していてAは道を通れないとします。そこでAが自分は道を通りたいので、Bに道を空けてくれるように言うと、Bは嫌だと言います。さあ、皆さんはこんな時にどう思いますか？多くの人は道を空けてくれないBは自分勝手な人だ、Aは嫌な思いをしているだろう、と思うのではないのでしょうか？しかし、先に道を使用していたのはBです。それなのにあとから来たAが言う、自分が通るから道を空けてくれ、と言うのはAのわがままなのかも知れません。そう思うとAもBもお互いの主張（価値観）を認め合っているとお互いに嫌な思いをしないかも知れません。実はコレ、とあるテレビ番組で多国籍の人々が住む国ではお互いを認め合う、と言う内容を多少の事例変更をして載せてみました。しかし、「受容」と言っても自分に嫌な事があると受容が出来ずに自分の感情が優先してしまう事の多い、人間としてもまだまだ修行が必要な編集長です。

さて、14 号発刊日は編集長の愛娘の満五歳の誕生日。そして 3 月が終わり 4 月になると編集長の愛娘は保育園の年長クラスへと進級します。

—編集長—

ハートからハートへ心と心をつ結ぶ医療サービス
医療法人真美会 麻見江ホスピタル
〒350-0302 埼玉県比企郡鳩山町大橋愛宕 1066
電話 049-296-1155（代表）FAX049-296-1147